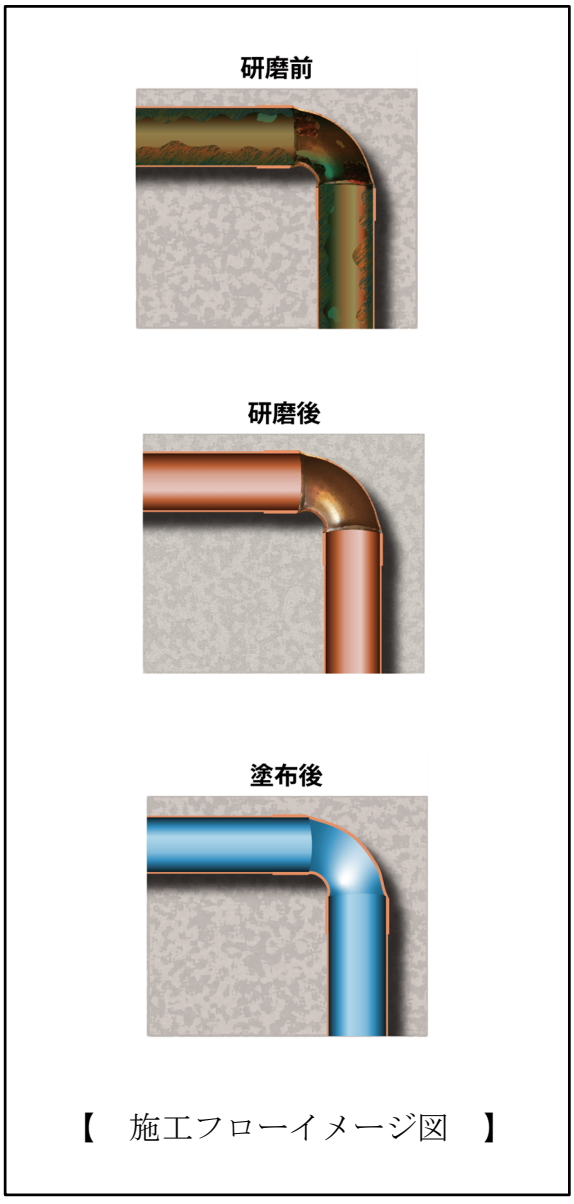
建設技術審査証明事業（建築技術）
審査技術概要シート

建設技術審査証明事業実施機関
一般財団法人日本建築センター
The Building Center of Japan

［審査証明番号／有効期限］	ＢＣＪ-審査証明-286／2027 年 1 月 25 日
［技術の名称］	給湯用銅管の更生技術 「ＨＳＣ（Hot Super Coat）工法」
［依頼者（審査証明取得者）］	株式会社　タイコー

［技術概要］

集合住宅の給湯用銅管は、使用年数の経過と共に、孔食・潰食の進行による漏水事故が多く発生している。本工法は、孔食・潰食により肉厚の薄くなった部分を含む給湯用銅管の内面全体に、耐熱性及び冷熱繰り返し性能に優れた二液無溶剤型エポキシ樹脂塗料（ＨＳＣ塗料）を塗布し、塗布後に温水養生を行い強固な塗膜を形成することにより肉厚の薄くなった部分を補強し、給湯用銅管を更生する技術である。



【　施工フローイメージ図　】

［開発の趣旨］

集合住宅の給湯用銅管に漏水が発生した場合、全ての配管を新管にする更新工事又は漏水部分の配管を部分的に切断し新管にする更新工事があるが、壁や床等の解体・復旧工事が必要となり居住者への負担が大きいこと、また、部分的な更新工事では更新した箇所以外での漏水が再度発生する恐れがあった。

そこで、壁や床等の解体・復旧工事を最小限に抑え、給湯用銅管の内面に塗膜を形成することにより、給湯用銅管を更生する技術を開発した。また、施工方法及び施工管理体制を確立することにより、本工法の普及を図る。

［開発目標および審査証明結果］

本技術について、前記の開発の趣旨及び開発の目標に照らして審査した結果は、以下のとおりである。

(1) 給湯用銅管内面の汚れ等を除去する下地処理研磨を行うことにより、塗料の塗布に適した下地を形成できるものと判断される。

(2) 適切な塗布条件のもとで、給湯用銅管にＨＳＣ塗料を塗布することにより、厚さ0.3㎜以上の強固な塗膜を形成できるものと判断される。

(3) 本工法により形成された塗膜が水質に悪影響を与えないものと判断される。

［本技術の問合わせ先］

株式会社タイコー
技術開発室　成田、藤原
TEL：047-421-1077　FAX：047-421-1033
技術紹介サイト　https://taikoh-e.com

本概要シートは、土木・建築関係団体により設立された「建設技術審査証明協議会」の会員として、一般財団法人 日本建築センター（BCJ）が実施した「建設技術審査証明事業（建築技術）」の結果を広く紹介する目的で作成したものです。